

## 科目概要

科目名	総合特別講義Ⅷ「ファシリテーションの技法と地域振興」(前学期)
授業内容 と方法	<p>グローバル化が進む現代、多様な人が集まる会議やプロジェクトが増えています。組織内の多様性を活かし、柔軟なアイデアや革新的なサービスを生み出すには、参加者の意見を平等に引き出し、集約するファシリテーションの技法が欠かせません。</p> <p>ファシリテーション (facilitation) とは、人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶよう舵取りすること。集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きを意味します。その役割を担う人がファシリテーター (facilitator) であり、会議で言えば進行役にあたります。(日本ファシリテーション協会 HP より)</p> <p>本科目では、地域振興や地域課題解決に特化したファシリテーションの考え方と具体的な技法を、座学とグループワークで学びます。これにより、現場で即戦力となるファシリテーション力とコミュニケーション力を身につけ、多様なステークホルダーを巻き込んだ地域活性化を実践できる人材を目指します。</p> <p>授業は、学生と社会人が混成グループでディスカッションやワークに取り組むアクティブラーニングを基本とし、すぐに使えるスキルを体得します。</p>
授業計画	<p>□Zoom を用いたオンラインに発表会 (対面) を加えたハイブリッド型授業です。</p> <p>□授業のコミュニケーションツールとして「Slack」を用います。</p> <p>① 4月11日 (土) 【第3時限～第5時限】 第1回: オリエンテーション (シラバスの解説、授業の方法、日程と評価の基準の説明) ファシリテーションの基礎知識① 第2回: ファシリテーションの基礎知識② 第3回: ワークショップとは</p> <p>② 5月9日 (土) 【第3時限～第5時限】 第4回: ワークショップの成果を出すコツ 第5回: 実践事例紹介 プログラム設計とプロセス設計の考え方 第6回: ワークショップ準備のコツ</p> <p>③ 5月31日 (日) 【第3時限～第5時限】 第7回: ワークショップの運営のコツ 第8回: フレームワークとは 第9回: 演習① (話し合いのプロセス体験)</p> <p>④ 6月20日 (土) 【第3時限～第5時限】 ※対面授業 第10回: 演習②-1 (ワールドカフェ手法体験) 第11回: 演習②-2 (ワールドカフェ手法体験) 第12回: 問いかけの作り方</p> <p>⑤ 7月18日 (土) 【第3時限～第5時限】 第13回: 地域づくりのプロセス設計① 第14回: 地域づくりのプロセス設計② 第15回: 振り返りとまとめ</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究共創機構が取り組む社会人向け科目履修プログラムとして、自治体、NPO 法人や企業等の社会人に本プログラムを提供します。</li> <li>・本科目は「初級地域公共政策士」資格取得のための履修証明プログラムの対象科目 (選択必修) です。</li> </ul>